

# SHARP®

## 取扱説明書 保証書付

### サウンドバー

エイチティー エスピー

## 形名 HT-SB117



はじめに



設置・接続・準備



音を楽しむ



USBメモリー  
の音を楽しむ



Bluetooth  
機器を楽しむ



困ったときは



情報ページ



**HDMI®**  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

**Bluetooth®**

ご購入いただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全上のご注意」(→ 3 ページ)、「電波に関するご注意」(→ 8 ページ)を必ずお読みください。
- 取扱説明書(本書)の裏表紙が保証書になっています。いつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 保証書に「ご購入日、販売店名」が記載されていることを確認してください。

# もくじ



**はじめに** ..... 初めて使うときは必ずお読みください。

|             |    |
|-------------|----|
| 安全上のご注意     | 3  |
| 電波に関するご注意   | 8  |
| 使用上のご注意     | 10 |
| お手入れのしかた    | 10 |
| 付属品         | 11 |
| 商標などについて    | 12 |
| 各部のなまえとはたらき | 13 |



**設置・接続・準備** ..... 操作を始める前に必要な内容です。

|              |    |
|--------------|----|
| リモコンに乾電池を入れる | 15 |
| 設置する前に       | 16 |
| 本機を設置する      | 16 |
| テレビと接続する     | 18 |
| 電源を接続する      | 22 |



**音を楽しむ** ..... 基本的な再生操作と音の調整です。

|                 |    |
|-----------------|----|
| 電源／音量や音質の調整など   | 23 |
| 本機に接続した機器の音声を聞く | 25 |



**USBメモリーの音を楽しむ** ..... USBメモリーの再生操作です。

|              |    |
|--------------|----|
| USBメモリーの音楽再生 | 27 |
|--------------|----|



**Bluetooth機器を楽しむ** ..... Bluetoothの接続と再生です。

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| スマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどをBluetoothで接続する | 29 |
| Bluetooth接続した機器の音楽の再生                     | 32 |



**困ったときは** ..... 本機を使用していて困ったときに調べていただくページです。

|              |    |
|--------------|----|
| 「故障かな？」と思ったら | 33 |
| 異常が起きたら      | 35 |



**情報ページ** ..... 仕様などの情報のページです。

|                   |     |
|-------------------|-----|
| Bluetooth無線技術について | 36  |
| おもな仕様             | 38  |
| 保証とアフターサービス       | 39  |
| お客様ご相談窓口のご案内      | 40  |
| 保証書／無料修理規定        | 裏表紙 |

# 安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



## 警告

人が死亡または重傷を負う  
おそれがある内容を示しています。



## 注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける  
おそれがある内容を示しています。

### 図記号の意味

(図記号の一例です)



.....  
気をつける必要がある  
ことを表しています。



.....  
してはいけない  
ことを表しています。



.....  
しなければならない  
ことを表しています。



## 警告



### 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災・感電の原因となります。

100ボルト  
以外禁止



禁止

### 国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。  
(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)



禁止

### 電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



もくじ／安全上のご注意

# 安全上のご注意 (つづき)



確実に  
差し込む

## 電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



禁止

## タコ足配線をしない

- 火災・感電の原因となることがあります。



接触禁止

## 雷が鳴りだしたら、製品に触れない

- 感電の原因となります。



禁止

## 開口部に金属類や燃えやすい物など異物を入れない

- 火災・感電・けがの原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- 小さなお子様が悪くて物を入れたり、挟み込んだりしないようにご注意ください。



禁止

## 不安定な場所に置かない

- 製品が落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因となることがあります。
- 多くの傷害、特にお子様に対する傷害は、次のような予防措置をとることで回避することができます。
  - 不安定な場所には絶対に本機を置かない。
  - 必ず本機を安全に置くことができる専用の家具を使用する。
  - 本機が家具の端から突き出さないようにする。
  - 本機と家具の両方を適切な柱や壁などに固定することなく、背の高い家具（食器棚や書棚など）の上には本機を絶対に置かない。
  - 本機と家具の間には、布や他の材質のものを絶対に敷かない。
  - お子様が本機やリモコンに触れようとして家具によじ登ることがないように、必ずその危険性を教育する。
  - 本機に接続するコードやケーブルは、引っ掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりなど、絶対にしないように本機を設置する。
  - 本機の上や置かれている家具の上には、お子様がよじ登りたくなるような物（玩具やリモコンなど）を絶対に置かない。
- 本機を使い続ける場合や、再配置する場合も、上記と同様の予防措置をとってください。



電源プラグを  
抜く

## 内部に水や異物などが入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



電源プラグを  
抜く

## 煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜く

- 異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。



風呂、シャワー  
室での使用禁止

### 風呂やシャワー室では使用しない

- ・火災・感電の原因となります。



分解禁止

### キャビネットを開けたり、改造しない

- ・火災・感電・けがの原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



水ぬれ禁止

### 本機の上に花瓶など、水の入った容器を置かない

- ・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。



## 注意



禁止

### 冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

- ・露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。



禁止

### 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるようなところに置かない

- ・調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・事故の原因となることがあります。



禁止

### 水滴がかかる場所に置かない

- ・内部に水滴が入り、漏電・焼損の原因となることがあります。



禁止

### 風通しの悪いところに入れたり、密閉した箱に入れたりしない また、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない

- ・内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

### 本機の上にものを置かない

- ・落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

### 直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

- ・火災・事故の原因となることがあります。



禁止

### 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- ・電源プラグを抜くときは必ず本体やプラグを持って抜いてください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

# 安全上のご注意 (つづき)



禁止

## 製品の上に乗ったり、手をついて体重を掛けない

- ・踏み台や腰かけのかわりに使わないでください。また、手をついて体重を掛けないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ・特にお子様やペットにはご注意ください。



禁止

## 電源コードを熱器具に近づけない

- ・電源コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。



ほこりを  
取る

## 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



音量を  
下げる

## 大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください

- ・そのまま使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。本機で音声を楽しむときは、音量を最小にしてから最適な音量に調整してください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



電源プラグを  
抜く

## お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

- ・感電やけがの原因となることがあります。



ぬれ手禁止

## ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ・感電の原因となることがあります。



禁止

## 電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

- ・火災・感電の原因となることがあります。



指定のケー  
ブルを使用

## 他の機器を接続するときは、指定のケーブルをお使いください

- ・接続するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、他の機器の取扱説明書をよくご覧のうえ、説明に従って接続してください。
- また、付属のケーブルや指定以外のケーブルを使用すると、故障の原因となります。



電源プラグを  
抜く

## 移動するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続ケーブルをはずしたことを確認のうえ、行ってください

- ・電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- また、落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。



禁止

### 本機は病院内で使用しない

- ・電波により医療機器の誤作動の原因となることがあります。



距離に注意  
する

### 磁石を使用しており、Bluetooth機能があるため、心臓ペースメーカー等の埋め込み型医療機器の装着部位に本製品を近づけない

- ・磁気や電波により医療機器の動作に影響を与える恐れがあります。本製品をご使用前に担当医師へご相談ください。



## 注意

### リモコンの電池についての安全上のご注意

- ・液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。



禁止

### 電池は幼児の手の届く所に置かない

- ・電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。



禁止

### 電池の液がもれたときは素手で触らない

- ・電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。



表示どおりに  
入れる

### 電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- ・間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

### 指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- ・誤ったタイプの電池に交換した場合、電池の爆発、破裂・液漏れにより、火災・けがの危険があります。また周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

### 電池は火や直射日光などの過激な熱にさらさない

### 水の中に入れない

### 加熱・分解・改造・ショートしない

### 乾電池は充電しない

- ・電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



安全上のご注意

## 安全上のご注意（つづき）



禁止

電池を水に濡らさない

ハンダ付けしない

金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない



指示

電池を使いきったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- ・電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- ・この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談室まで、ご連絡ください。
- ・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 電波に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しています。この周波数帯の電波は、次に示すようにいろいろな機器が使用しています。

- ・コードレスフォン
- ・コードレスファクシミリ
- ・電子レンジ
- ・無線 LAN 機器
- ・Bluetooth
- ・ワイヤレス AV 機器
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・マイクロ波治療機器類

これらの機器と本機を同時に使用すると、電波の干渉により、音がとぎれて雑音のように聞こえたり、音が出なくなったりすることがあります。

受信状況の改善方法としては次の方法があります。

- ・電波を発生している相手機器の電源を切る
- ・干渉している機器との距離を離して設置する

# 電波に関するご注意 (つづき)



## ■ 機器認定について

本機は、技術基準適合認証を受けていますので、次の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解／改造すること

本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。

## ■ 電波到達範囲

電波が届く範囲は約 10m です。ただし、設置位置やお使いになる場所の状況により狭くなる場合があります。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要さない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

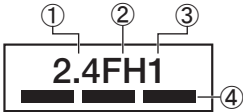
この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに電波の発射を停止しうえ、【お客様相談室】（40 ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、【お客様相談室】（40 ページ）へご連絡ください。

## ■ 周波数について

- ・ 本機が使用する周波数帯は以下の通りです。

|           |                                                                                     |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|           |  |
| ①使用周波数    | 2.4 GHz 帯を使用する無線設備                                                                  |
| ②変調方式     | FH-SS 変調方式                                                                          |
| ③想定干渉距離   | 10 m 以下                                                                             |
| ④周波数変更の可否 | 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能                                                  |

## 使用上のご注意

- ・ 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。
- ・ 本機は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- ・ 使用中は、内部から発生する熱により、本機が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。
- ・ パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、本機との距離をできるだけ離してください。
- ・ 本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。また、誤動作することがあります。そのときは、本機との距離をできるだけ離してください。
- ・ 本機のスピーカーは防磁対応ではありません。磁気カードなど磁気の影響を受けやすいものをスピーカーの近くに置かないでください。

## お手入れのしかた

- ・ 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽くふき取ってください。化学雑布（シートタイプのウェット・ドライのものも含め）を使用すると、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となることがあります。
- ・ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭き取り、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

### ご注意

- ・ ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。



# 付属品

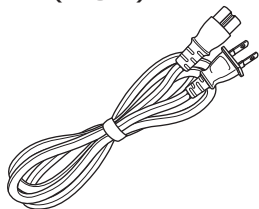
リモコン× 1



HDMI ケーブル (1.5m) × 1



AC コード (電源コード)  
(1.5m) × 1

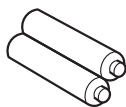


光デジタル音声ケーブル  
(1.5m) × 1



注意：付属の電源コードは本機専用です。  
他の機器に使用しないでください。

単 4 乾電池× 2



取扱説明書 (保証書付) (本書) ※× 1

※日本語以外の取扱説明書はございません。

This model is designed exclusively  
for Japan, with manuals in  
Japanese only.



使用上のご注意／お手入れのしかた／付属品

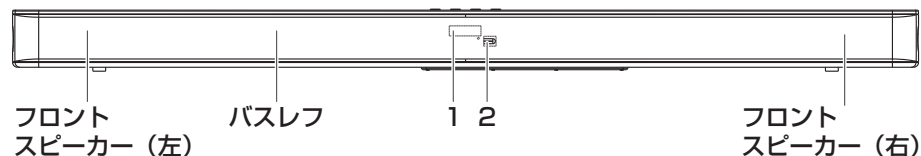
## 商標などについて

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- iPad、iPod、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Bluetooth<sup>®</sup> のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。シャープ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では<sup>®</sup>、<sup>™</sup> マークは明記していません。

# 各部のなまえとはたらき

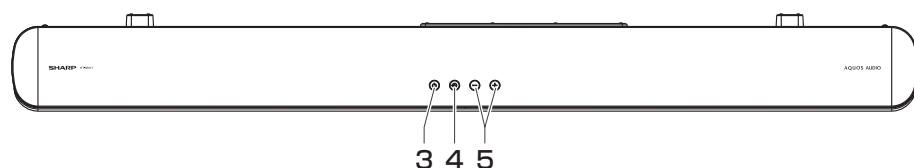
## 本体各部

### ■ 正面



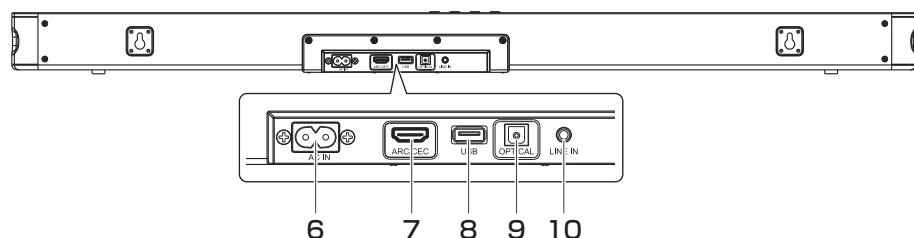
1. 本体表示部：設定の内容が表示されます。
2. リモコン受光部：リモコンをここに向けて操作してください。

### ■ 天面(操作部)



3. POWER (電源) ボタン：電源を入 / 切 (待機) します。
4. INPUT (入力切換) ボタン：聞きたい機器の入力に切り換えるときに押します。
5. VOLUME (音量) - / + ボタン：音量を調整するときに押します。

### ■ 背面(端子部)



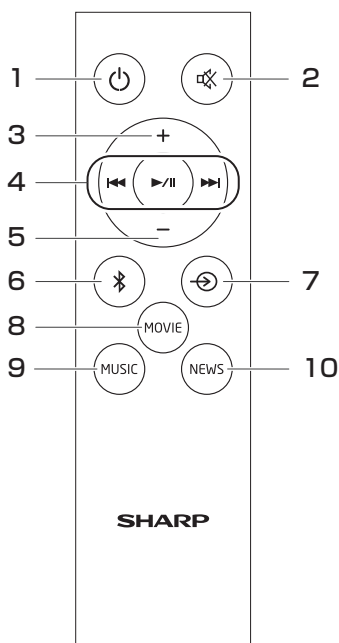
6. AC コード (電源コード) を接続します。
7. HDMI OUT TV ARC 端子：テレビの eARC/ARC 対応 HDMI 端子と接続します。
8. USB 入力端子：USB メモリーと接続します。
9. OPTICAL (デジタル音声入力) 端子：デジタル音声出力 (光) 端子と接続します。
10. LINE IN (アナログ音声入力) 端子：アナログ音声出力端子と接続します。



商標などについて／各部のなまえとはたらき

# 各部のなまえとはたらき (つづき)

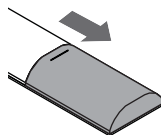
## リモコン部



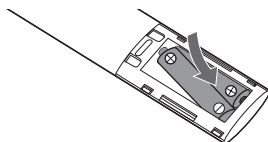
- |                       |                                         |
|-----------------------|-----------------------------------------|
| 1. POWER (電源) ボタン     | 電源を入 / 切 (待機) します。                      |
| 2. MUTE ボタン           | 音を一時的に消します。                             |
| 3. VOLUME (音量) + ボタン  | 音量を調整します。                               |
| 4. 再生操作ボタン            | Bluetooth 機器や USB メモリ内のコンテンツの再生操作を行います。 |
| 5. VOLUME (音量) - ボタン  | 音量を調整します。                               |
| 6. Bluetooth ボタン      | 入力を「Bluetooth 機器」にします。                  |
| 7. INPUT ボタン          | 接続方法に合わせて入力を切り換えるときに押します。               |
| 8. MOVIE (ムービー) ボタン   | サウンドモードを「ムービー」にします。                     |
| 9. MUSIC (ミュージック) ボタン | サウンドモードを「ミュージック」にします。                   |
| 10. NEWS (ニュース) ボタン   | サウンドモードを「ニュース」にします。                     |

# リモコンに乾電池を入れる

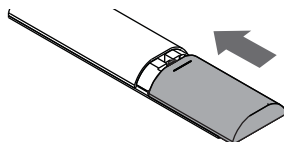
## 1. フタを矢印の方向に開ける



## 2. 単4乾電池を⊖側から入れる



## 3. フタを閉める



- 乾電池が浮かないよう、しっかりと奥まで入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は、2本とも同じ種類を使用してください。
- 電池交換時は単4形乾電池をご使用ください。

### ご注意

- 乾電池は、日光や火などの過度の熱にさらさないでください。
- 乾電池の方向に注意して入れてください。⊕、⊖を間違えると、故障の原因となります。
- 充電式電池(ニッケル水素など)は使用しないでください。誤動作することがあります。
- リモコンの乾電池は6か月に一度、乾電池からの液漏れや変形などの異常がないかご確認ください。一度液漏れを起こしたリモコンは、正常に動作しない場合があります。

## ■リモコン用乾電池の交換時期は？

- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗する場合があります。

## ■リモコンの使える範囲(目安)

- 距離：リモコン受光部から 8 m
- 範囲：リモコン受光部を中心に上下 15°、左右 30°

### ご注意

本機のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本機の向きにご注意ください。

- リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。



各部のなまえとはたらき／リモコンに乾電池を入れる

## 設置する前に

- 設置するときは、本機の左右・天面に 10cm 以上のすきまをあけてください。

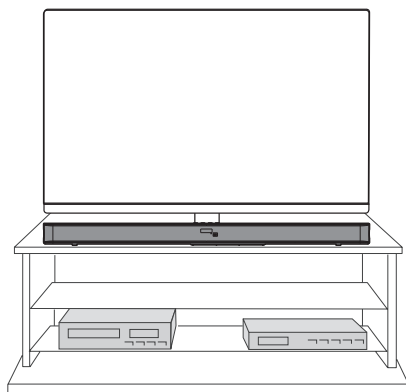


- 家庭用電源コンセント（AC100V、50/60Hz）の近くに設置し、手で電源プラグが容易に抜き差しできるようにしてください。
- 電源を入れたまま移動したり、向きを変えたりしないでください。
- テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本機を設置してください。
- テレビのリモコン受光部などをさえぎらないようにしてください。

## 本機を設置する

### テレビ台などに置いて使用する

#### ■ 設置例



#### ご注意

- サウンドバーをテレビの前に設置する場合、サウンドバーがテレビのリモコン受光部などをさえぎらないようにご注意ください。

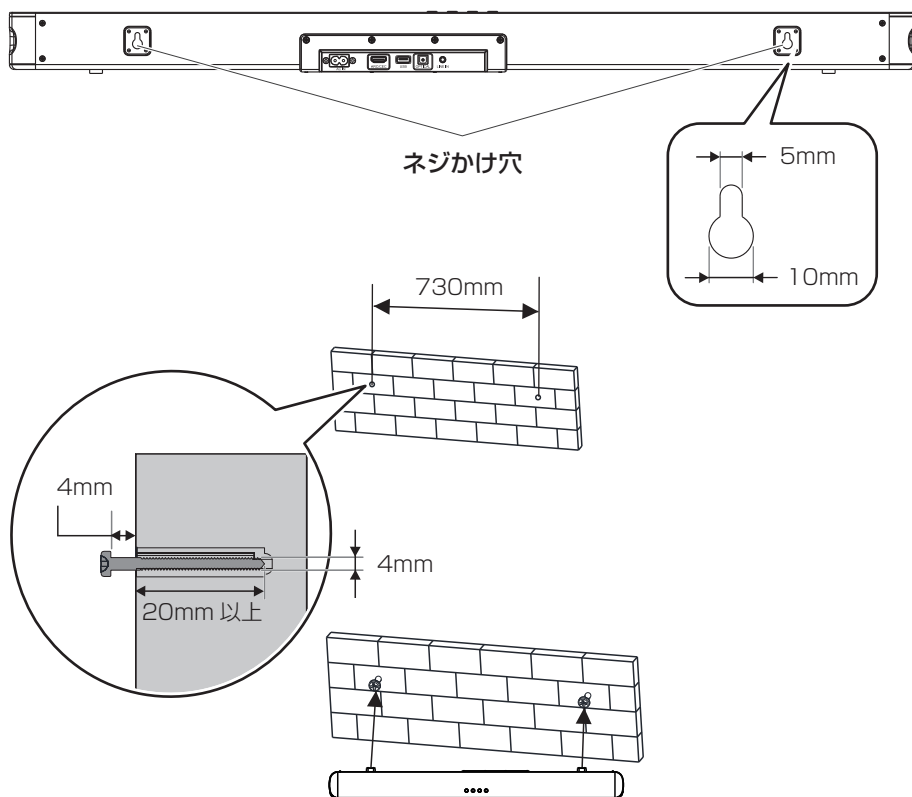
# 本機を設置する (つづき)

## 壁にかけて使用する

### ご注意

- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジやアンカーをご用意ください。  
壁の材質によっては破損するおそれがあります。サウンドバーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けをおこなってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切責任を負いません。

### 【参考】



サウンドバーの背面ネジかけ穴とネジの位置を合わせてから、2 か所を同時に取り付けてください。



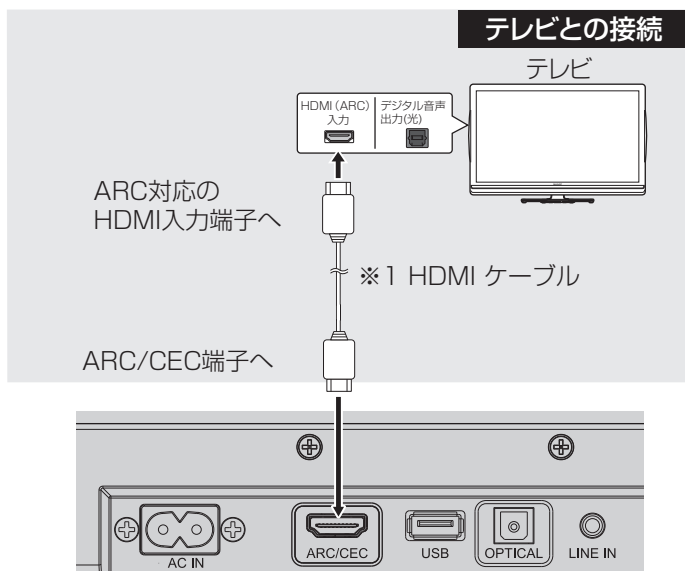
設置する前に／本機を設置する

# テレビと接続する

## 接続する前に

- 接続するときは、それぞれの機器の電源プラグを抜いてから行ってください。
- ご使用の機器の取扱説明書もよくご覧のうえ、接続してください。

## ARC 機能のある HDMI 端子付きテレビと接続する



※1 付属のHDMI ケーブルをご使用ください。

## ■「テレビ」入力の音声を聞くには

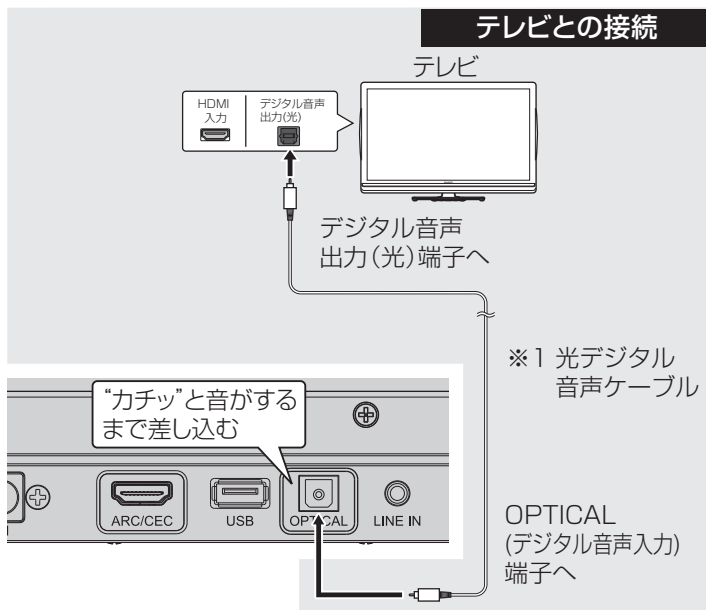
- テレビの音声出力の設定を「PCM」モードにしてください。
- テレビのスピーカー音声出力を「外部スピーカー」に設定してください。
- 本機の電源を切るとテレビの音声はテレビから出力されます。再度、本機の電源を入れるとテレビの音声は本機から出力され、テレビから音声は出力されません。
- テレビの音声出力の設定について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

## お知らせ

- テレビに eARC の設定がある場合は「ARC」モードに設定してください。設定方法はテレビの説明書をご確認ください。

## ARC 機能のない HDMI 端子付きテレビと接続する

- テレビの音声出力の設定を「PCM」モードにしてください。
- テレビのスピーカー音声出力を「外部スピーカー」に設定してください。
- ARC（オーディオリターンチャンネル）機能のない HDMI 端子付きテレビと本機を接続するときは、光デジタル音声ケーブルで接続してください。



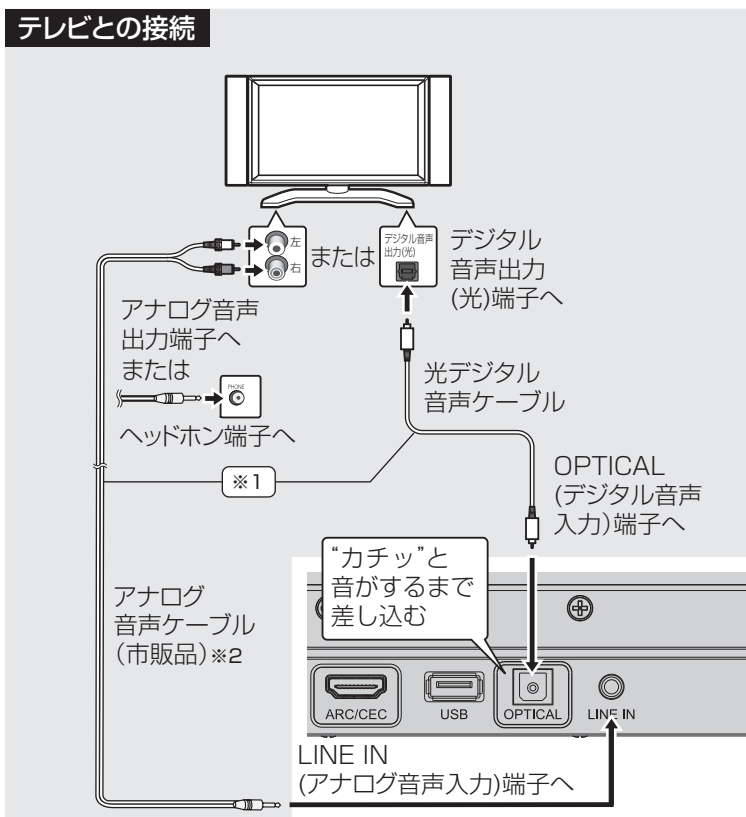
※1 付属の光デジタル音声ケーブルをご使用ください。



テレビと接続する

# テレビと接続する (つづき)

## HDMI 端子のない機器 (テレビや DVD プレーヤーなど) を接続する



- テレビと本機を、アナログ音声ケーブル (市販品) または光デジタル音声ケーブルで接続してください。
- 本機に接続した機器の音声を聞くには、 (リモコン) または  (本体) をくり返し押して、聞きたい機器の入力を選んでください。

※1 ご使用の機器やお好みに合わせて、どちらかの接続をしてください。

※2 テレビのヘッドホン端子と接続する場合は、市販のアナログ音声ケーブル (3 極タイプ φ 3.5) をご使用ください。

### ご注意

- モノラルのテレビのヘッドホン端子と接続したときは、スピーカー部の左右両方からは音が出ない場合があります。



## HDMI ケーブルについて

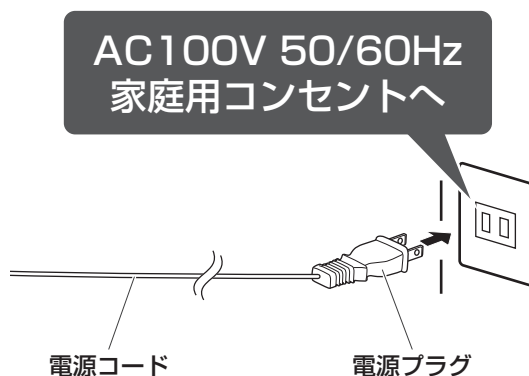
- 使用する前に、保護キャップがついている場合は取り外して接続してください。
- 市販品の HDMI ケーブルをお使いになるときは、より安定した動作のため、HDMI ロゴ表示のあるハイスピードタイプ対応の HDMI with Ethernet ケーブルをお買い求めください。
- HDMI ケーブルは奥まで差し込み、引っ張らないようにしてください。コネクターが端子から抜けると、本機が正常に動作しなくなります。また、しっかり差し込まれていないときは、雑音が生じることがあります。

## 光デジタル音声ケーブルについて

- 使用する前に、保護キャップがついている場合は取り外して接続してください。
- 光デジタル音声ケーブルは、曲げすぎると破損します。直径 60mm 以下には曲げないでください。

# 電源を接続する

各機器の接続が終わったら、電源コードを本体に接続します。(13 ページ)  
最後に電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。



## お知らせ

- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- それぞれの機器の電源プラグを差し込むときは、テレビの電源プラグを最後に差し込んでください。
- HDMI ケーブルの抜き差しや接続方法を変えた場合は、本機の機器の電源を入れた状態でテレビの電源を入れ直してください。
- 電源は家庭用コンセント（AC100V、50/60Hz）を使用してください。

## ご注意

- 家庭用電源コンセントの近くに設置し、手で電源プラグが容易に抜き差しできるようにしてください。

# 電源／音量や音質の調整など

## 電源を入れる

1.  (リモコン) または  (本体) を押す

- 本体表示部が点灯します。

### お知らせ

- HDMI CEC 機能に対応した接続機器の電源が入ったときにも、自動的に本機の電源が入ります。
- テレビの電源が入ってから音が出るまで、または CEC 機能により本機が認識されるまで、若干の遅れが生じる場合があります。

## 電源を切るには…

1.  (リモコン) または  (本体) を押す

- 本体表示部が消灯します。

### お知らせ

- CEC 機能に対応した機器の場合は、接続している機器の電源に連動して、本機の電源も自動的に切れます。

## オートパワーコントロール

無音状態が 15 分続くとオートパワーオフで電源が切れます。

### お知らせ

- 接続している機器によっては、一時停止や消音などの操作をおこなった場合、音声が無音となりオートパワーオフ機能が働き自動的に電源が切れる場合があります。



# 電源／音量や音質の調整など（つづき）

## 音量を調整する

1.  (リモコン) または   (本体) を繰り返し押す



- 音量は 45 段階で調整することができます。
- 音量を調整すると本体表示部が変化し、操作した数秒後に前の表示に戻ります。

## 一時的に音声を消すには

1.  (リモコン) を押す

- 本体表示部に  と表示され、点滅します。
- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。
- 電源を切って入れ直すと、消音モードは解除されます。

## ■ 音のエチケットについて

- 楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。ご近所の迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

# 本機に接続した機器の音声を聞く

## 電源を入れる

1.  (リモコン)または  (本体)を押す

- 本体表示部が点灯します。

### お知らせ

- HDMI CEC 機能に対応した接続機器の電源が入ったときにも、自動的に本機の電源が入ります。
- テレビの電源が入ってから音が出るまで、または CEC 機能により本機が認識されるまで、若干の遅れが生じる場合があります。

## 聞きたい機器の入力を選ぶ

1.  (リモコン)または  (本体)をくり返し押して選ぶ

(本体表示部)

 : ARC/CEC に対応した HDMI 端子に接続した ARC 対応のテレビを選びます。

↓  
 : USB 端子に接続した機器を選びます。

↓  
 : Bluetooth 接続した機器を選びます。  
(機器未接続時は )

↓  
 : LINE IN (アナログ音声入力) 端子に接続した機器を選びます。

↓  
 : OPTICAL (デジタル音声入力) 端子に接続した機器を選びます。

- USB メモリーなど USB 接続した機器の音声を聞くときは **27** ページをご覧ください。
- 入力表示は常時表示されます。
- 一定時間無操作状態が続くと自動的に本体表示部の光を抑えます。



## 本機に接続した機器の音声を聞く（つづき）

### プリセットサウンドモードを選んで聞くには

3 種類のサウンドモードの中からお好みの音場を手軽に選べます。  
選択したモードに応じて、本体表示部が 4 秒間点灯します。

#### ■ リモコンのボタンを押し、聞きたいサウンドモードを選びます

| リモコンボタン                                                                                  | 内容                    | 本体表示                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|  ミュージック | 音楽などを聞くときに適したモードです。   |  |
|  ムービー   | 映画などを聞くときに適したモードです。   |  |
|  ニュース   | ニュースなどを聞くときに適したモードです。 |  |

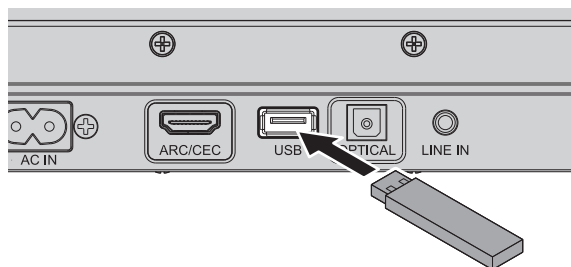
### 音声を切り換えるには

音声多重放送を見ているとき、主音声と副音声を切り換えることができます。

- お使いのテレビの説明書をお読みください。

# USB メモリーの音楽再生

## USB メモリーを接続する



本機に接続した  
機器の音声を聞く



USBメモリーの音楽再生

### ■ 本機に取り付けられる USB 機器について

USB 端子に取り付けられる機器

- USB メモリー

ファイル形式

- FAT16
- FAT32

### ■ USB 機器の取り付け、取り外しについて

- USB ハブは使用せず、直接接続してください。  
USB カードリーダーを使用した場合、認識できない場合があります。認識できても再生できない場合があります。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。

### お知らせ

- 本機で再生できる音楽ファイルは MP3 です。
- ファイルやフォルダを書き込んだ順に再生します。
- 一度、入力を切り換えたり、電源を入れ直すと、先頭のファイルから再生します。
- 一部の音楽ファイルは再生できない場合があります。
- USB メモリーは FAT32 でフォーマットしてください。
- フォルダ / ディレクトリー階層が深いと、再生できない場合があります。

# USB メモリーの音楽再生 (つづき)

## USB メモリーの音楽を再生する

1.  (リモコン)または  (本体)を押して電源を入れる
2.  (リモコン)または  (本体)を繰り返し押してUSBを選択する
  - ARC → USB → Bluetooth → LINE → OPTICAL (光) の順番で切り換わります。
3.  (リモコン)を押して音楽を再生する

### ■ 操作ボタン (リモコン)

| リモコンボタン                                                                                            | 機能             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|  再生 / 一時停止<br>ボタン | 曲を再生 / 一時停止させる |
|  スキップ (次)<br>ボタン  | 次の曲の頭出しをする     |
|  スキップ (前)<br>ボタン  | 曲の頭出しをする       |

# スマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどをBluetoothで接続する

本機は、Bluetooth 搭載のスマートフォン/iPod/iPhone/iPad や Bluetooth 搭載機器で再生する音楽を Bluetooth 接続によりワイヤレスで楽しめます。

はじめに Bluetooth 搭載機器を登録するペアリングを行います。

## ペアリングとは…

Bluetooth 接続では、あらかじめ接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。本機は Bluetooth 搭載機器を 6 台まで登録できます。

- ペアリングの方法については **30** ページをご覧ください。

## ■ ペアリング表示について

| 本体表示部                                                                             | Bluetooth の状態  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|  | 待機モード、ペアリング中   |
|  | Bluetooth 接続完了 |

※待機モードとは、Bluetooth 接続のペアリングを待ち受けている状態を表します。

## ■ 本機がサポートしている Bluetooth のプロファイルについて

本機は、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に対応しています。詳しくは、「**Bluetooth 無線技術について**」(36 ページ)をご覧ください。

## ■ 登録機器の解除について

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき
- 6 台以上の機器をペアリングしようとしたとき

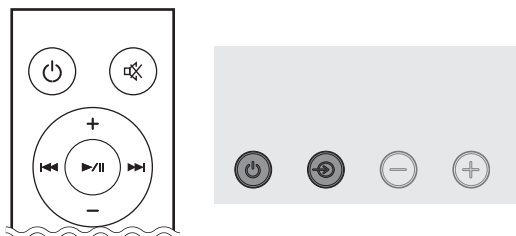
本機は 6 台の中で最後に接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき
- 本機を初期化したとき



# スマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどをBluetoothで接続する(つづき)

## スマートフォン/iPod/iPhone/iPad から検索してペアリングする



1. (電源) (リモコン)または (本体)を押して電源を入れる
2. (Bluetooth) (リモコン)または (本体)を繰り返し押してBluetoothを選択する
  - ・ ARC → USB → Bluetooth → LINE → OPTICAL (光) の順番で切り換わります。
3. Bluetooth 搭載機器でペアリング可能な機器を検索する
  - ・ 本機は、Bluetooth搭載機器に表示される検出した機器の一覧に「HT-SB117 SHARP」と表示されます。(Bluetooth搭載機器の操作について詳しくは、お使いの Bluetooth搭載機器の取扱説明書をご覧ください。)
4. 検出した機器の一覧から「HT-SB117 SHARP」を選択する
  - ・ パスワード\*が必要な場合は、「0000」を入力してください。  
※パスワードは、PIN コード、パスキー、PIN 番号などとよばれる場合があります。
5. Bluetooth 搭載機器とペアリングが完了
  - ・ 本体表示部に「b t」と表示されます。
  - ・ これでペアリング情報が本機に記憶されました。接続されない場合は、Bluetooth 搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

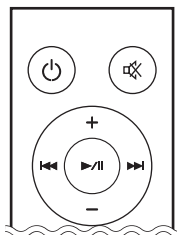
### お知らせ

- ・ 機器によってはペアリング後、自動的に音声が発生します。再生しない場合や再生中の操作は **32**ページをご覧ください。

### ご注意

- ・ ペアリングを行う際は、本機と Bluetooth 搭載機器との距離を半径 1m 以内の範囲で行ってください。
- ・ Bluetooth 搭載機器によっては、検出された機器の一覧を表示することができません。本機とのペアリング方法については Bluetooth 搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

## スマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどを接続する



### ■接続する

スマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどとBluetoothで接続するとき、下記についてご確認ください。

- スマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどのBluetooth機能がONになっている。
- 本機とスマートフォン/iPod/iPhone/iPadなどのペアリングが完了している。
- 本機より10m以内の場所で操作している。

### ■Bluetoothで接続する

1. (リモコン)または (本体)を押して電源を入れる
2. (リモコン)または (本体)を繰り返し押してBluetoothを選択する
  - ARC → USB → Bluetooth → LINE → OPTICAL (光) の順番で切り換わります。
3. Bluetooth搭載機器の検出した機器の一覧から「HT-SB117 SHARP」を選択する。
4. Bluetooth 搭載機器と接続が完了
  - 本体表示部に「b t」と表示されます。
  - 接続されない場合は、Bluetooth 搭載機器の取扱説明書をご覧ください。接続していただき、機器によっては接続後、自動的に音声再生します。再生しない場合や再生中の操作は 32 ページをご覧ください。

### ■Bluetooth 接続の切断

Bluetooth 接続を切断するには下記のいずれかを実施してください。

- Bluetooth 搭載機器の Bluetooth 接続を解除する (Bluetooth 接続の解除方法は Bluetooth 搭載機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 本機の電源を切る
- 別の入力に切り換える

### ご注意

- Bluetooth 搭載機器に重低音やイコライザの機能を搭載している場合は、設定を OFF にしてください。音が歪む場合があります。
- 接続する機器によっては、本機の音量を操作できない場合があります。

# Bluetooth 接続した機器の音楽の再生

1.  (リモコン)または  (本体)を押して電源を入れる

2.  (リモコン)または  (本体)を繰り返し押してBluetoothを選択する

• ARC → USB → Bluetooth → LINE → OPTICAL (光) の順番で切り換わります。

## ご注意

• Bluetooth が選択されていないければ、Bluetooth 機器と接続状態でも音は出ません。

3.  (リモコン)を押して音楽を再生する

## ■ 操作ボタン (リモコン)

| リモコンボタン                                                                                            | 機能             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|  再生 / 一時停止<br>ボタン | 曲を再生 / 一時停止させる |
|  スキップ (次)<br>ボタン  | 次の曲の頭出しをする     |
|  スキップ (前)<br>ボタン  | 曲の頭出しをする       |

※再生で使用するアプリの機能に基づきます。

## 4. 音量を調整する

 (リモコン) または   (本体) を押して調整します。



# 「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

なお、「保証とアフターサービス」については **39** ページをご覧ください。

| こんなときに                   | ここをお確かめください                                                                                                                                                        | 参照ページ |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 音が出ない                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量が「0」になっていませんか。</li> </ul>                                                                                                 | 24    |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>一時的に音声を消す設定(消音モード)になっていませんか。</li> </ul>                                                                                     | 24    |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している機器が正しく選択されていますか。(入力切換を間違えていませんか。)</li> </ul>                                                                          | 25    |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している機器の電源は入っていますか。</li> </ul>                                                                                             | —     |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している機器が、本機の入力端子に正しく接続されていますか。</li> </ul>                                                                                  | 18～21 |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIケーブルや音声ケーブル類は、接続している機器側と本機側共に端子の奥までしっかり正しく差し込まれていますか。抜けていませんか。ケーブルを正しく接続し直して、一度「初期化」をしてください。</li> </ul>                 | 35    |
| 再生中にノイズが聞こえる             | <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビにeARCの設定がある場合は「ARC」モードに設定してください。設定方法はテレビの説明書をご確認ください。</li> </ul>                                                         | 18～21 |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンや無線機器のそばで本機を使用したときは、本機に雑音が入る場合があります。そのようなときはパソコンや無線機器との距離を離してご使用ください。</li> </ul>                                        | 8～9   |
| ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった | <ul style="list-style-type: none"> <li>一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、「初期化」をしてください。</li> </ul>                                                                 | 23、35 |
| 電源が入らない                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグが本機ならびにコンセントからはずれていませんか。</li> </ul>                                                                                    | —     |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>本機の保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。</li> </ul>                                                       | 35    |
|                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>一度「初期化」をしてください。</li> </ul>                                                                                                  | 35    |
| 勝手に電源が切れる                | <ul style="list-style-type: none"> <li>オートパワーコントロール機能が動き、無音状態が約15分続くと自動的に電源が切れる場合があります。</li> <li>HDMI CEC機能に対応した機器の場合は、接続している機器の電源に連動して、本機の電源も自動的に切れます。</li> </ul> | 23    |

Bluetooth  
機器の音楽の再生



「故障かな？」と思ったら

# 「故障かな？」と思ったら (つづき)

| こんなときに                                      | ここをお確かめください                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 参照ページ                                   |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| リモコンが動作しない、または正しい動作をしない                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾電池が消耗していませんか。または、乾電池は入っていますか。</li> <li>・乾電池の⊕、⊖の向きが逆になっていませんか。</li> <li>・本機の電源プラグは、コンセントに正しく接続されていますか。</li> <li>・リモコンの送信部を本機のリモコン受光部に正しく向けていますか。</li> <li>・リモコン受光部との距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。</li> <li>・本機の前に障害物はありませんか。</li> <li>・リモコン受光部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。</li> <li>・他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。</li> </ul> | 15<br>—<br>—<br>15<br>15<br>—<br>—<br>— |
| Bluetooth で音が出ない                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機とBluetooth搭載機器との距離が遠すぎませんか。</li> <li>・本機とBluetooth搭載機器とのペアリングが正しく行われていますか。</li> <li>・入力がBluetoothになっていますか。</li> </ul> Bluetoothが選択されていなければ、本機とBluetooth搭載機器が接続状態でも音は出ません。                                                                                                                                             | 36<br>29<br>32                          |
| Bluetooth の音が途切れたり、歪む                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用していませんか。</li> <li>・本機とBluetooth搭載機器との間に障害物はありませんか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                       | 36<br>—                                 |
| 電源プラグを抜き差しすると、Bluetooth 接続していない機器の再生が勝手に止まる | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機は、電源プラグをコンセントに差し込んだ直後(停電復帰後)、ペアリング済みBluetooth搭載機器を確認いたします。そのため機器によっては再生が停止する場合があります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                       | —                                       |
| ファミリンク機能が動作しない                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機はファミリンク機能の一部に対応していません。</li> <li>・ファミリンク設定は正しいですか。</li> </ul> 詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。                                                                                                                                                                                                                               | 23                                      |

## ■ 結露 (つゆつき) について

- ・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

# 異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく動作しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、次のように操作してください。

1. 一度、電源を切り、再度電源を入れ直す
2. それでも元に戻らない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、再び差し込み、電源を入れ直す

## ■ お買い上げ時の設定状態に戻すには（初期化）

あらかじめ、本機に接続したすべてのケーブルを外してから、以下の操作を行ってください。

1.  (本体)を押して、電源を入れる
2.  (リモコン)または  (リモコン)をくり返し押してLINE INを選ぶ
3. 電源ボタンを5秒間長押しする



「故障かな？」と思ったら／異常が起きたら

# Bluetooth 無線技術について

## Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の Bluetooth バージョンとプロファイルに対応しています。

対応 Bluetooth バージョン：

Bluetooth 標準規格 Ver. 5.3

対応 Bluetooth プロファイル：

- － A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- － AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)：再生、一時停止、停止など、AV 機器を操作する。

## ご注意

- ・ Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により使える機能が異なる場合があります。
- ・ Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

## 通信有効範囲

見通し距離で約 10m 以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- － Bluetooth 接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- － 無線 LAN が構築されている場所
- － 電子レンジを使用中の周辺
- － その他の電磁波が発生している場所

## 他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- － 本機と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN から 10m 以上離れたところで行う。
- － 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る。

## 他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- － 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- － 自動ドアや火災報知機の近く

## ご注意

- 本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分ではない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生ししても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth の接続が完了する前に本機、または Bluetooth 搭載機器の電源を切るとペアリングが完了せず、ペアリングに関する情報は記憶されません。はじめからペアリングをやり直してください。
- 本機は、最大 6 台までペアリング情報を登録できます。6 台以上の機器をペアリングしようとしたとき 6 台の中で最後に接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。



# おもな仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

|                        |                                                                                           |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 品名                     | サウンドバー                                                                                    |
| 形名                     | HT-SB117                                                                                  |
| 形式                     | 1 ウェイ (バスレフ型)                                                                             |
| スピーカー                  | フルレンジ左右 2 個                                                                               |
| 実用最大出力合計値              | 50W (非同時駆動、JEITA ※)                                                                       |
| 実用最大出力                 | 左右フロント : 25W+25W (非同時駆動、JEITA ※)                                                          |
| アンプ方式                  | デジタルアンプ                                                                                   |
| 端子                     | ・ 光デジタル音声入力端子<br>・ アナログ音声入力端子 (3 極φ 3.5mm)<br>・ HDMI 端子 (ARC 対応)<br>・ USB Type-A 端子       |
| 電源                     | AC 100V、50 / 60Hz                                                                         |
| 消費電力                   | 25W (待機消費電力 : 0.5W 以下)                                                                    |
| 最大外形寸法 (単位mm)          | 920 (幅) × 99 (奥行) × 63 (高さ) (JEITA ※)                                                     |
| 質量                     | 約 2.1kg                                                                                   |
| 使用温度範囲                 | 5℃～ 35℃                                                                                   |
| Bluetooth              |                                                                                           |
| 使用周波数帯域                | 2.400GHz - 2.480GHz                                                                       |
| 通信方式                   | Bluetooth Ver. 5.3                                                                        |
| 出力                     | 10m (Class 2)                                                                             |
| 対応 Bluetooth<br>プロファイル | A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、<br>AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) |

※ 実用最大出力、最大外形寸法は、JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

# 保証とアフターサービス

## 保証とアフターサービス

### 保証書（巻末）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**  
お買いあげの日から 1 年間です。  
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。  
持込修理の対象商品をメーカーへ直接送付した場合の送料や出張修理を依頼された場合の出張料などは、保証期間内、保証期間外にかかわらずお客様のご負担となります。

### 使い方や修理のご相談など

- 修理や廃棄に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（→ **40** ページ）

### 修理を依頼される時は【持込修理】

- 「故障かな？と思ったら」（→ **34** ページ）を調べてください。
- SHARP オンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート：  
<https://jp.sharp/support/>

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源を切ってから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 修理のご依頼は、保証書を添えてお買いあげの販売店にご持参ください。



# お客様ご相談窓口のご案内

- ・この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談窓口まで、ご連絡ください。
- ・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## ■ 製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内 (電話オペレーターにはつながりません)

自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からもご利用いただけます)  **0120 - 001 - 252**



使用方法や修理のご相談など【お客様相談室】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

**受付時間** (年末年始を除く) ●月曜～土曜: **9:00～18:00** ●日曜・祝日: **9:00～17:00**

固定電話からは、フリーダイヤル

 **0120 - 001 - 251**

携帯電話からは、ナビダイヤル

 **0570 - 550 - 113**

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

| 電話                           | FAX                     |
|------------------------------|-------------------------|
| <b>050 - 3852 - 5122</b>     | <b>06 - 6792 - 5993</b> |
| 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号 |                         |

## 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。

個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取扱いの詳細については、

<https://jp.sharp/privacy/index-j.html> をご参照ください。

## COCORO MEMBERS



**「製品登録」を  
お願いします。**

COCORO MEMBERS は、シャープ製品／COCORO+ サービスをご利用のお客様向けのシャープの会員サービスです。「MY家電登録」「MY家電サポート」や、限定イベント、キャンペーンなどを実施しています。

<https://cocoromembers.jp.sharp/m/>

ココロメンバース

検索

入会特典

- 家電製品をWEBでまとめて管理できる！
- 登録製品に関する消耗品、取扱説明書などサポート情報へ簡単アクセス！
- 抽選で当社製品などが当たる「わくわくポイント」を進呈！
- 自動回答に加え、会員限定でオペレーターとチャットで相談ができる。



修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にアクセスしてください。



### 【会員サービス】「COCORO MEMBERS」入会で製品情報を上手に活用

「COCORO MEMBERS」でご愛用製品を「MY家電登録」いただくと、別売品やお手入れ方法などサポート情報が手軽にご利用いただけます。COCORO MEMBERSのサイトから修理のお申込みをされる場合、お客様情報や製品情報を入力する手間が省けます。

<https://jp.sharp/support/sp/cocoro/cocoro.html>

COCORO MEMBERS  
MY 家電登録はこちら



### いつでも便利なWebサービス 【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト！

#### オンラインサポート トップページ

<https://jp.sharp/support/>

シャープ お問い合わせ 検索

スマートフォンからでも  
ご利用いただけます。



修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート

#### インターネットから修理のお申し込み

<https://jp.sharp/support/repair.html>

シャープ 修理相談 検索

スマートフォンからでも  
ご利用いただけます。



#### ■QRコードについて

スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。（読み取れない場合はアドレスを直接入力してください）

#### ■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

## This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

[illegible]

# SHARP HT-SB117 保証書

持込修理

シャープ サウンドバー

形名 HT-SB117

|     |             |   |
|-----|-------------|---|
| お客様 | ふりがな<br>お名前 | 様 |
|     | ☎           |   |
|     | ご住所 〒       |   |

取扱販売店名・住所・電話番号

保証期間

お買いあげ日 年 月 日より

本体は1年間 ただし、消耗品は除く

## 無料修理規定

### 持込修理

保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参のうえ、お買いあげの販売店にご依頼し本書をご提示ください。

本書は、記載内容の範囲で無料修理または製品交換させていただくことをお約束するものです。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居、ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧ください。お客様ご相談窓口にお問い合わせください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

#### ＜ 無 料 修 理 規 定 ＞

- 取扱説明書などの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書に従い無料修理または製品交換いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 本書のご提示がない場合。
  - (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造など、取扱説明書やそれに類する書面に当社が禁止している事項に抵触したことで発生した故障・損傷。
  - (ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
  - (ホ) 火災・公害・および地震・落雷・突風・風水害・塩害・ガス害（硫化ガス等）その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
  - (ヘ) 一般家庭用以外（例えば業務用で使用、車両船舶に搭載）に使用された場合の故障・損傷。
  - (ト) 消耗部品（乾電池）の自然消耗、摩耗、劣化等により部品の交換が必要な場合。
  - (チ) 電池の液漏れによる故障・損傷。
  - (リ) 持込修理の対象製品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
  - (ヌ) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合（例：ホコリ、錆、カビ、小動物の侵入・糞尿・損傷）
- 製品の保証期間内であっても、当社が別途定める当該製品の製造切り後の補修用性能部品保有期間が満了し、かつ部品が手配できない場合は修理をお引き受けできないことがあります。
- 製品の状態やその他の事項により、修理に代えて製品交換で対応する場合がありますのでご了承ください。
- 環境への配慮や修理料金低減のため、修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理後、交換した部品は当社が任意に回収のうえ適切に処理致します。
- 本書に基づき無料修理（製品交換を含む対応）を行った製品の保証期間は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- お買いあげの製品が故障により使用出来なかったことによる損害については補償致しません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

★本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理につきまして、くわしくはお客様相談室にお問い合わせください。